

## 地域包括ケアシステム構築に向けた平成 27 年度の取組み状況

高齢者の社会参画の促進		介護人材の確保と育成		医療と介護の連携強化																																																			
<b>取組</b>	○ボランティアポイント制度の導入にむけたモデル事業	<b>取組</b>	○介護人材定着セミナー	<b>取組</b>	○医師会との連携による取組み																																																		
<b>概要</b>	高齢者の社会参加及び地域貢献を奨励、支援し、もって高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を推進することを目的に、市が指定する地域福祉活動やボランティア活動にポイントを付与し、当該ポイントを商品等に交換するもの。	<b>概要</b>	介護人材の定着を図るため、各種セミナーを開催するもの。 ・経営者セミナー ・新人合同セミナー ・職場復帰セミナー	<b>概要</b>	かかりつけ医を持つことの必要性と在宅医療の在り方について市民へ啓発することを目的に、在宅医療出前講座を開催する。また、人生の終末期のあり方を本人があらかじめ示すものとして、リビングウィルの検討・作成を行う。																																																		
<b>実績</b>	(1) 実施状況 10月26日 介護施設でのボランティア募集開始 11月1日 ボランティアの活動期間開始 (～平成28年1月31日) 12月1日 ポイントの交換期間開始 (～平成28年2月29日) 3月中旬 事業参加者へアンケート調査を実施 ※ボランティア登録者 246名 ・施設ボランティア 12名(レクリエーション補助、話し相手等) ・シルバーリハビリ体操指導士 60名 ・見守り隊11団体 174名 ※ポイント交換申請者 127名(平成28年2月末現在) ・ゆったり館の利用券 22名 ・特産品 103名 ・ゆったり館の利用券及び特産品 2名 (2) 今後の対応等 アンケート調査の結果に基づき、事業内容を検証した上で、平成28年度より事業の本格導入を行う。	<b>実績</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>期日</th> <th>セミナー名称</th> <th>定員</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>6月20日(土)</td> <td>新人職員合同セミナー(第1回)</td> <td rowspan="2">50名</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>11月21日(土)</td> <td>新人職員合同セミナー(第2回)</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>7月25日(土)</td> <td rowspan="2">コミュニケーションスキルアップセミナー</td> <td rowspan="2">30名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>8月1日(土)</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>8月22日(土)</td> <td rowspan="2">OJTリーダー養成セミナー</td> <td rowspan="2">30名</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>8月29日(土)</td> <td>32名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td>9月19日(土)</td> <td rowspan="3">経営者セミナー</td> <td rowspan="3">130名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>10月3日(土)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>10月17日(土)</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10月24日(土)</td> <td>職場復帰支援セミナー</td> <td>20名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12月19日(土)</td> <td>新人職員モチベーション向上セミナー</td> <td>100名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1月23日(土)</td> <td>管理者セミナー</td> <td>100名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table> (2) 今後の対応等 平成28年度においても引き続き各種セミナーを開催する。	No.	期日	セミナー名称	定員	参加人数	1	6月20日(土)	新人職員合同セミナー(第1回)	50名	51名	11月21日(土)	新人職員合同セミナー(第2回)	27名	2	7月25日(土)	コミュニケーションスキルアップセミナー	30名	30名	8月1日(土)	33名	3	8月22日(土)	OJTリーダー養成セミナー	30名	29名	8月29日(土)	32名	4	9月19日(土)	経営者セミナー	130名	13名	10月3日(土)	8名	10月17日(土)	36名	5	10月24日(土)	職場復帰支援セミナー	20名	2名	6	12月19日(土)	新人職員モチベーション向上セミナー	100名	15名	7	1月23日(土)	管理者セミナー	100名	24名	<b>実績</b>	・在宅医療出前講座の開催(医師会主催) 9月12日 平窪公民館 10月17日 草野公民館 10月17日 勿来公民館 10月24日 大久公民館 10月28日 高坂住吉神社社務所 10月31日 泉公民館 11月14日 いわきゆったり館 ・リビングウィルの検討・作成 宮崎市が作成したエンディングノートを参考に、医師会が主体となり、「わたしの想いをつなぐノート」を作成した。関係機関へ配布したほか、研修会を実施している。今後は、出前講座等をおし市民への普及・啓発を図る
No.	期日	セミナー名称	定員	参加人数																																																			
1	6月20日(土)	新人職員合同セミナー(第1回)	50名	51名																																																			
	11月21日(土)	新人職員合同セミナー(第2回)		27名																																																			
2	7月25日(土)	コミュニケーションスキルアップセミナー	30名	30名																																																			
	8月1日(土)			33名																																																			
3	8月22日(土)	OJTリーダー養成セミナー	30名	29名																																																			
	8月29日(土)			32名																																																			
4	9月19日(土)	経営者セミナー	130名	13名																																																			
	10月3日(土)			8名																																																			
	10月17日(土)			36名																																																			
5	10月24日(土)	職場復帰支援セミナー	20名	2名																																																			
6	12月19日(土)	新人職員モチベーション向上セミナー	100名	15名																																																			
7	1月23日(土)	管理者セミナー	100名	24名																																																			
<b>サービス基盤の整備</b>		<b>取組</b>	○人材確保に関するアンケート調査	<b>取組</b>	○医療・介護連携推進事業																																																		
<b>取組</b>	○第7次高齢者保健福祉計画における施設整備について	<b>概要</b>	介護人材の確保が困難な状況にあるなか、今後の介護人材確保対策を講じるにあたり、市内の介護保険サービス事業所の経営者や事業所に就労している職員の就業実態の把握や離職者の離職実態を把握するために実施するもの。	<b>概要</b>	医師会、訪問看護ステーション等の関係機関と協議の場をもち、情報共有ツールの検討や関係機関の連携体制構築を図るとともに、医療・介護専門職への研修会を開催し、対応力向上・連携意識の醸成を図る。また、市民への在宅医療に関する啓発方法を検討する。																																																		
<b>概要</b>	第7次高齢者保健福祉計画(平成27年度～平成29年度)において、整備位置づけのある高齢者施設・居住系サービスについて、公募により事業者を選定するもの。	<b>実績</b>	4月30日から6月1日までアンケート調査を実施。調査結果について、第3回介護保険運営協議会で報告を行った。 ・事業者用 655名配布 264件回答(40.3%) ・従業者用 7,066名配布 2,654件回答(37.5%) ・離職者用 664名配布 45件回答(6.8%)	<b>実績</b>	(1) 医療と介護連携促進部会の設置 ・第1回会議(7月15日開催) ・第2回会議(10月7日開催) ・第3回会議(11月25日開催) ・第4回会議(2月3日開催) 《委員構成》医療関係者、介護関係者、行政関係者等計17名 (2) 今年度の検討事項 ・退院時連携の仕組みづくりの検討(情報共有ツール、相談支援策) ・医療・介護関係者の研修方法等の検討(在宅医療推進、多職種連携推進) ・地域住民への啓発方法の検討(在宅医療及び終末期医療に関する啓発) (3) 今後の対応等 ・医療介護機関のリスト及びマップ作成 ・情報共有様式の作成 ・次年度の会議スケジュール及び検討事項の決定																																																		
<b>実績</b>	(1) 公募期間:平成27年7月14日(火)～9月14日(月) (2) 公募数(計画数) 地域密着型特別養護老人ホーム: 145床 特定施設入居者生活介護事業所(混合型): 147床 認知症高齢者グループホーム: 54床 (3) 審査日:平成27年10月26日(月) 公募の結果、選定された事業所は次のとおり。 地域密着型特別養護老人ホーム: 1事業所(29床) 特定施設入居者生活介護(混合型): 3事業所(82床) 認知症高齢者グループホーム: 1事業所(18床)	<b>取組</b>	○定期巡回・随時対応型訪問介護看護参入促進事業	<b>取組</b>	○医療・介護連携推進事業																																																		
<b>概要</b>	利用者の需要を把握するための調査を実施するとともに、当該訪問介護看護への参入を促進させるため、介護保険事業所経営者セミナー等を開催するもの。	<b>概要</b>	利用者の需要を把握するための調査を実施するとともに、当該訪問介護看護への参入を促進させるため、介護保険事業所経営者セミナー等を開催するもの。	<b>概要</b>	医師会、訪問看護ステーション等の関係機関と協議の場をもち、情報共有ツールの検討や関係機関の連携体制構築を図るとともに、医療・介護専門職への研修会を開催し、対応力向上・連携意識の醸成を図る。また、市民への在宅医療に関する啓発方法を検討する。																																																		
<b>実績</b>	(1) 居宅介護支援事業所への調査 7月31日から8月31日まで調査を実施。 163事業所配布 86件回答(52.7%) (2) 参入促進セミナー及び個別相談会の開催(2月17日) ・セミナー参加者 46事業所 69名 ・個別相談会参加者 4事業所 ※現在、参入意向アンケート調査を実施中	<b>概要</b>	利用者の需要を把握するための調査を実施するとともに、当該訪問介護看護への参入を促進させるため、介護保険事業所経営者セミナー等を開催するもの。	<b>概要</b>	医師会、訪問看護ステーション等の関係機関と協議の場をもち、情報共有ツールの検討や関係機関の連携体制構築を図るとともに、医療・介護専門職への研修会を開催し、対応力向上・連携意識の醸成を図る。また、市民への在宅医療に関する啓発方法を検討する。																																																		

地域包括ケアシステム構築に向けた平成27年度の取組み状況

生活支援サービスの強化																																																																					
取組	○住民支え合い活動づくりモデル事業																																																																				
概要	<p>地域住民が主体となる多様なサービスを創出するため、モデル地区を7箇所選定し、住民支え合いによる体制づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託先 市社会福祉協議会</li> <li>○実施内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体の運営(地域福祉支援員)</li> <li>・生活支援ニーズの把握、サービスの創出、生活支援活動の実践</li> <li>・生活支援ボランティア養成のための研修開催、市民への普及・啓発</li> </ul> </li> </ul>																																																																				
実績	<p>(1) 運営委員会の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 第1回運営委員会(6月23日)</li> <li>② 第2回運営委員会開催(8月26日)</li> <li>③ 第3回運営委員会開催(10月26日)</li> <li>④ 第4回運営委員会開催(12月3日)</li> <li>⑤ 第5回運営委員会を3月下旬に開催予定</li> </ol> <p>(2) 取組み内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各地区で協議体を設置(7月下旬)</li> <li>② 全体研修会の開催(7月30日)</li> <li>③ 協議体の開催(月1回)、地域住民へ対するアンケート調査実施(9月中)</li> <li>④ 現地視察研修の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市 福祉ボランティアじゅんさいの会(10月30日、11月2・16日)</li> <li>・日立市 塙山学区住みよいまちをつくる会(11月7・9日)</li> </ul> </li> <li>⑤ 支え合いサポーター研修会の開催 全7地区で開催。開催案内を全戸回覧したことにより、協議体メンバーのほか、活動に興味を示す地域住民も多数参加。 講師:日立市 塙山学区住みよいまちをつくる会会長 西山氏</li> <li>⑥ 平成27年度地域づくり講演会(アリオス大ホール)(1月30日)</li> </ol> <p>(3) 活動開始実績 【各地区の主な活動(平成28年3月10日現在)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区</th> <th colspan="3">活動</th> </tr> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">平</td> <td rowspan="3">城山地区</td> <td>検討中</td> <td>定期訪問(声かけ)</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>3/26</td> <td>電球交換(購入含む)</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>2/9</td> <td>ごみ出し</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小名浜</td> <td rowspan="2">玉川町西区</td> <td>3月中旬～</td> <td>見守り</td> <td rowspan="2">4件予定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ごみ出し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">勿来</td> <td rowspan="2">南台地区</td> <td>1/24・2/21</td> <td>定期的な集会所の開放(つどいの場)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>1月初旬～定期実施</td> <td>見守り訪問・声かけ運動</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常磐</td> <td rowspan="2">下船尾地区</td> <td>2/29</td> <td>定期訪問(声かけ)</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>3/16(予定)</td> <td>個人宅をお借りした開放型の移動サロン</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内郷</td> <td rowspan="2">高坂9区</td> <td>1/20・2/24</td> <td>つどいの場の開催</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>12/25</td> <td>意見箱の設置</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">四倉</td> <td rowspan="3">新町地区</td> <td>3月初旬</td> <td>窓拭き(実施時期調整中)</td> <td>1件依頼</td> </tr> <tr> <td>1/28・2/4・2/8</td> <td>サポーターから関係機関へ情報提供・相談</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>1/14・1/18・2/4</td> <td>サロンの場でサポーターが中心にマップを用いて対象者を確認</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小川</td> <td rowspan="2">塩田地区</td> <td>2/5</td> <td>個人宅をお借りした開放型の移動サロン</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サロンの場において困りごと相談</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	地区	活動			日程	内容	件数	平	城山地区	検討中	定期訪問(声かけ)	8件	3/26	電球交換(購入含む)	1件	2/9	ごみ出し	1件	小名浜	玉川町西区	3月中旬～	見守り	4件予定		ごみ出し	勿来	南台地区	1/24・2/21	定期的な集会所の開放(つどいの場)	2回	1月初旬～定期実施	見守り訪問・声かけ運動	10件	常磐	下船尾地区	2/29	定期訪問(声かけ)	17件	3/16(予定)	個人宅をお借りした開放型の移動サロン	1回	内郷	高坂9区	1/20・2/24	つどいの場の開催	2回	12/25	意見箱の設置	2か所	四倉	新町地区	3月初旬	窓拭き(実施時期調整中)	1件依頼	1/28・2/4・2/8	サポーターから関係機関へ情報提供・相談	3件	1/14・1/18・2/4	サロンの場でサポーターが中心にマップを用いて対象者を確認	3回	小川	塩田地区	2/5	個人宅をお借りした開放型の移動サロン	1回		サロンの場において困りごと相談	2件
地区	活動																																																																				
	日程	内容	件数																																																																		
平	城山地区	検討中	定期訪問(声かけ)	8件																																																																	
		3/26	電球交換(購入含む)	1件																																																																	
		2/9	ごみ出し	1件																																																																	
小名浜	玉川町西区	3月中旬～	見守り	4件予定																																																																	
			ごみ出し																																																																		
勿来	南台地区	1/24・2/21	定期的な集会所の開放(つどいの場)	2回																																																																	
		1月初旬～定期実施	見守り訪問・声かけ運動	10件																																																																	
常磐	下船尾地区	2/29	定期訪問(声かけ)	17件																																																																	
		3/16(予定)	個人宅をお借りした開放型の移動サロン	1回																																																																	
内郷	高坂9区	1/20・2/24	つどいの場の開催	2回																																																																	
		12/25	意見箱の設置	2か所																																																																	
四倉	新町地区	3月初旬	窓拭き(実施時期調整中)	1件依頼																																																																	
		1/28・2/4・2/8	サポーターから関係機関へ情報提供・相談	3件																																																																	
		1/14・1/18・2/4	サロンの場でサポーターが中心にマップを用いて対象者を確認	3回																																																																	
小川	塩田地区	2/5	個人宅をお借りした開放型の移動サロン	1回																																																																	
			サロンの場において困りごと相談	2件																																																																	

実績	<p>(4) 今後の対応等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業の進捗状況や方向性の確認</li> <li>② 今年度の取組み状況を評価・分析</li> <li>③ 次年度以降の事業の進め方の検討及び本格実施の制度設計の検討。</li> </ol>
取組	○あんしん見守りネットワーク活動事業
概要	地域ケア会議等を活用し、地域住民の合意形成のもと、地域住民の自主的な活動として「高齢者見守り隊」を結成し、地域において高齢者を見守る体制を構築する。
実績	<p>(1) 取組実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者見守り活動実施地区 26地区(平成27年12月末現在)</li> <li>② 今年度実績:4件 4/2 田人町石住、7/13 常磐藤原、10/28 泉玉露地区、11/26 南台地区</li> <li>③ 立ち上げ見込み 川前町小白井地区(3月頃)</li> </ol> <p>(2) 今後の対応等 地域ケア会議や出前講座により、高齢者を取り巻く環境の変化や課題について地域住民との意識共有を図り、年間5か所の見守り隊立ち上げを目標とする。</p>

介護予防・日常生活支援総合事業の推進	
取組	○介護予防推進事業
概要	<p>体操指導士の会を設立し、地域ぐるみで介護予防に取り組む。また、指導士の資質向上のため、リハビリ専門職関与で研修会を開催するほか、介護予防事業について検討する場を設ける。</p>
実績	<p>(1) 健康と生きがいづくり部会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会議(7月23日開催)</li> <li>・第2回会議(10月22日開催)</li> <li>・第3回会議(12月24日開催)</li> <li>・第4回会議(2月18日開催)</li> <li>・第5回会議(3月18日開催)</li> </ul> <p>《委員構成》作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等 計16名</p> <p>(2) 今年度の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康寿命の延伸」の実現に向けた事業目標の設定</li> <li>・総合事業移行後の介護予防事業の実施主体・実施プログラム・実施方法・評価方法の検討</li> <li>・住民主体の活動へ多職種による支援体制の構築</li> </ul> <p>(3) シルバーリハビリ体操指導士会立ち上げ支援 10月3日に設立総会を開催</p> <p>(4) 今後の対応等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよいアセスメント・マネジメントの検討</li> <li>・予防事業の効果検証</li> <li>・シルバーリハビリ体操のメニュー作成、DVD作成</li> <li>・短期集中サービスのプログラムの整理</li> <li>・次年度の会議スケジュール及び検討事項の決定</li> </ul>
取組	○シルバーリハビリ体操事業
概要	<p>住民参加型介護予防事業として、住民の介護予防意識の醸成を図るとともに、地域において高齢者が介護予防に向けた取り組みを実践できるよう体操の普及および体操を指導する人材として市民ボランティアによる体操指導士の育成を図る。</p>
実績	<p>(1) 指導士会の設立までの取組み経過</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地区ごとの説明会(6月)</li> <li>② 設置要綱等の作成、地区との協議(7～9月)</li> <li>③ 指導士会設立総会の開催(10月3日)</li> </ol> <p>(2) 参加者数 4,707人 (市に指導士派遣依頼があり確認できている実数)</p> <p>(3) 実施団体数 245団体 (市に指導士派遣依頼があり確認できている団体数)</p> <p>(4) これまで養成した体操指導士数 440名(11月末現在)</p> <p>(5) 指導士会登録者数 163名</p> <p>(6) 指導士会立ち上げ支援 本年度、県地域包括ケアシステム構築推進事業補助金により指導士会立ち上げ支援費を確保しており、必要事務用品等の購入に活用する。</p> <p>(7) 今後の対応等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 指導士会立ち上げ後のフォローアップ体制の検討</li> <li>② 平成28年度以降の活動支援について検討</li> <li>③ 次年度事業計画策定のため役員会を開催予定(2月中)</li> </ol>



地域包括ケアシステム構築に向けた平成 27 年度の取組み状況

認知症対策の推進	
取組	○認知症対応推進事業
概要	認知症ケアに携わる関係者による協議の場を設け、平成 27 年度から実施する初期集中支援チーム、認知症ケアパス、認知症カフェ運営事業を評価・分析等、PDCA サイクルに基づく進捗管理を行うとともに、徘徊模擬訓練の実施や多職種協働の研修会など、一層効果的な施策展開の検討や関係者の連携体制の構築を図る。
実績	(1) 高齢者生活安全部会の設置 ・第1回会議(7月1日開催) ・第2回会議(8月19日開催) ・第3回会議(11月4日開催) ・第4回会議(1月20日開催) 《委員構成》医療関係者、介護関係者、行政関係者等 計 20 名 (2) 今年度の検討事項 ・いわき市認知症あんしんガイドの普及啓発の方法の検討 ・認知症初期集中支援の仕組みづくり ・認知症カフェ事業の実施方法や開催場所の検討 ・認知症サポーターの活動支援の仕組みづくり (3) 今後の対応等 ・初期集中支援の仕組みづくり ・あんしんガイドの概要版の作成 ・認知症サポーター(市民ボランティア)の活動方法の検討 ・次年度の会議スケジュール及び検討事項の決定
取組	○認知症初期集中支援チーム設置
概要	認知症の早期発見・早期対応を図るため、複数の専門職が家族の訴え等により、認知症が疑われる方や認知症の方及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的(概ね6ヶ月)に行い、自立生活をサポートすることを目的とする。
実績	(1) 取組み状況 高齢者生活安全部会の中で初期集中支援のしくみづくりについて検討してきた。 チームドクター、生活支援系スタッフの目途は立ったものの、医療系スタッフの確保に難航しており、現在、市看護協会と協議中である。 (2) 今後の対応等 医療系のスタッフが確保でき次第、チーム員会議を開催し、作業スキームの確認と、認知症初期集中支援チームの設置に向けた最終的な調整を行う。

取組	○認知症カフェ事業																																																																																																																																																																															
概要	認知症の方とその家族等が、認知症によって生じた生活の変化・混乱・漠然とした不安感等を、同じ立場の方と共有、共感することで解消することができ、専門職等の配置により最初の相談窓口として適切なケアに結び付けることができるほか、地域住民の交流の場を創出することで、認知症の正しい知識の普及啓発を図り、認知症の方とその家族を地域で支える体制の構築を目的とし実施する。																																																																																																																																																																															
実績	(1) 設置状況 ① いわき食彩館株式会社 スカイストア(毎月第一金曜日) ② 特別養護老人ホーム サニーポート小名浜(毎月第四金曜日) ③ サンライフゆもと(1月28日から開催。毎月第四木曜日) (2) 開催実績 《参加者数》 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スカイストア</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>サニーポート小名浜</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>7</td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>サンライフゆもと</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>5</td> <td></td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> 《うち認知症に関する相談内訳》 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>スカイストア</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医療機関への受診勧奨</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②地域包括支援センターへの相談勧奨</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>③家族の接し方の助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>④本人への助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>⑤その他</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>サニーポート小名浜</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医療機関への受診勧奨</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②地域包括支援センターへの相談勧奨</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>③家族の接し方の助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>④本人への助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑤その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>サンライフゆもと</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医療機関への受診勧奨</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②地域包括支援センターへの相談勧奨</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>③家族の接し方の助言</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>④本人への助言</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>⑤その他</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> (3) 今後の対応等 ① 開催場所の調整 市内 14 の日常生活圏域毎に月 1 回の開催を目標に、実施可能な事業所との調整を図る。 ② PDCA サイクルによる検証とアクション 実施しているカフェの実態を共有・検証し、より充実した内容となるようアクションを行う。 ③ 情報の発信 市ホームページ等を利用し情報発信する他、オレンジカフェ以和貴以外の認知症のサロン活動についても情報発信ができる仕組みを検討する。		11月	12月	1月	2月	3月	合計	スカイストア	23	19	17	22	19	100	サニーポート小名浜	10	3	10	7		30	サンライフゆもと	-	-	8	5		13	スカイストア	11月	12月	1月	2月	3月	合計	①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0	1	1	②地域包括支援センターへの相談勧奨	0	0	1	0	2	3	③家族の接し方の助言	0	0	1	0	0	1	④本人への助言	0	0	3	3	2	8	⑤その他	0	2	5	1	5	13	合計	0	2	10	4	10	26	サニーポート小名浜	11月	12月	1月	2月	3月	合計	①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0		0	②地域包括支援センターへの相談勧奨	0	0	0	0		0	③家族の接し方の助言	0	0	1	0		1	④本人への助言	0	0	0	0		0	⑤その他	0	0	0	0		0	合計	0	0	1	0	0	1	サンライフゆもと	11月	12月	1月	2月	3月	合計	①医療機関への受診勧奨	-	-	0	0		0	②地域包括支援センターへの相談勧奨	-	-	0	0		0	③家族の接し方の助言	-	-	0	0		0	④本人への助言	-	-	1	1		2	⑤その他	-	-	2	4		6	合計	0	0	3	5	0	8
	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																																																																																										
スカイストア	23	19	17	22	19	100																																																																																																																																																																										
サニーポート小名浜	10	3	10	7		30																																																																																																																																																																										
サンライフゆもと	-	-	8	5		13																																																																																																																																																																										
スカイストア	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																																																																																										
①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0	1	1																																																																																																																																																																										
②地域包括支援センターへの相談勧奨	0	0	1	0	2	3																																																																																																																																																																										
③家族の接し方の助言	0	0	1	0	0	1																																																																																																																																																																										
④本人への助言	0	0	3	3	2	8																																																																																																																																																																										
⑤その他	0	2	5	1	5	13																																																																																																																																																																										
合計	0	2	10	4	10	26																																																																																																																																																																										
サニーポート小名浜	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																																																																																										
①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0		0																																																																																																																																																																										
②地域包括支援センターへの相談勧奨	0	0	0	0		0																																																																																																																																																																										
③家族の接し方の助言	0	0	1	0		1																																																																																																																																																																										
④本人への助言	0	0	0	0		0																																																																																																																																																																										
⑤その他	0	0	0	0		0																																																																																																																																																																										
合計	0	0	1	0	0	1																																																																																																																																																																										
サンライフゆもと	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																																																																																										
①医療機関への受診勧奨	-	-	0	0		0																																																																																																																																																																										
②地域包括支援センターへの相談勧奨	-	-	0	0		0																																																																																																																																																																										
③家族の接し方の助言	-	-	0	0		0																																																																																																																																																																										
④本人への助言	-	-	1	1		2																																																																																																																																																																										
⑤その他	-	-	2	4		6																																																																																																																																																																										
合計	0	0	3	5	0	8																																																																																																																																																																										

取組	○多職種による協働研修の開催
概要	多職種の連携強化と顔の見える関係づくりを目的として、平成 26 年度から開催。
実績	(1) 平成 26 年度多職種研修会 ① 日時 平成 27 年1月 13 日 ② 場所 総合保健福祉センター 多目的ホール ③ 内容 講演会 232 名参加 グループワーク 90 名参加 (2) 平成 27 年度多職種研修会 ① 日時 1コース 7月 28 日(火) 18 時～20 時 50 分 2コース 8月 4日(火) 18 時～20 時 50 分 ② 場所 舞子浜病院 ③ 講師 福島県認知症疾患医療センター センター長 田子久夫氏 ④ 内容 講演会及びグループワーク ⑤ 参加者 1コース 96 名、2コース 98 名 (3) 今年度の開催予定 ① 日時 平成 28 年 3 月 8 日(火)・15 日(火) 18 時 30 分～20 時 45 分 ② 場所 舞子浜病院 ③ 内容 講演会及びグループワーク
取組	○認知症ケアパスの普及
概要	認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活していける地域づくりのため、認知症に関する正しい知識の普及啓発と、認知症の症状に合わせて提供される医療や介護のサービスの標準的な内容を示す認知症ケアパス「認知症あんしんガイド」を作成した。
実績	(1) 認知症あんしんガイド概要 A4版 48頁 フルカラーのパンフレット ・認知症の正しい知識 ・いわき市の社会資源一覧 ・いわき市で利用できる介護サービス ・認知症に関する相談先 (2) 周知方法 ・作成部数 7,000 部 ・各支所、地区保健福祉センター、地域包括支援センターの窓口、医療介護関係機関への配布 ・「認知症カフェ」での配布 ・市公式ホームページへの掲載 (3) 今後の対応等 ・あんしんガイドの概要版の作成

地域包括ケアシステム構築に向けた平成 27 年度の取組み状況

地域ケア会議の充実	
取組	○いわき市地域ケア会議の設置
概要	高齢者に関する地域の課題を地域で解決するために「地域ケア会議」の充実を図る。平成 27 年度から、各地区保健福祉センターが所管する圏域の課題検討を行う中地域ケア会議、市全域の課題検討を行う地域包括ケア推進会議を開催する。
実績	<p><u>地域包括ケア推進会議の開催について</u></p> <p>(1) 委員委嘱状交付式及び第1回地域包括ケア推進会議開催</p> <p>① 開催日時 6月3日 18:30～ 文化センター</p> <p>② 検討内容 作業部会の設置、今後のスケジュールを提示</p> <p>(2) 第2回地域包括ケア推進会議を開催</p> <p>① 開催日時 8月10日 18:30～ 文化センター</p> <p>② 検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業部会及び各中地域ケア会議における取組状況報告</li> <li>・いわき市住民支え合い活動モデル事業について報告</li> <li>・在宅医療の地域住民へ対する啓発方法の検討(リビングウィル作成)</li> </ul> <p>(3) 今後の予定</p> <p>① 第3回地域包括ケア推進会議開催予定 3月23日 18:30～ 会場未定</p> <p>② 検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中地域ケア会議の取組み状況報告</li> <li>・中地域より提出された政策課題の検討</li> <li>・作業部会の取組み状況報告・協議</li> <li>・平成 28 年度以降の取組みについて</li> </ul> <p>(4) 今後の対応等</p> <p>① 各中地域ケア会議における検討内容の把握、政策課題の抽出</p> <p>② 地域包括ケア推進会議への報告様式の統一</p> <p>③ 地域包括ケア推進会議と中地域ケア会議の次年度スケジュール作成</p> <p><u>中地域ケア会議の開催について</u></p> <p>(1) 中地域ケア会議開催状況</p> <p>① 平地区(7月23日)</p> <p>② 小名浜地区(6月17日、9月2日、11月18日)</p> <p>③ 勿来・田人地区(7月17日、10月28日)</p> <p>④ 常磐・遠野地区(7月23日)</p> <p>⑤ 内郷・好間・三和地区(2月9日開催予定)</p> <p>⑥ 四倉・久之浜大久地区(6月24日、1月27日開催予定)</p> <p>⑦ 小川・川前地区(10月2日)</p> <p>(2) 今後の対応等</p> <p>① 地区センターとの情報交換会の開催</p> <p>② 各中地域ケア会議における検討内容の把握、取組みの見える化</p> <p>③ 地域包括ケア推進会議への報告様式の統一</p> <p>④ 地域包括ケア推進会議と中地域ケア会議の次年度スケジュール作成</p> <p>⑤ 地区センターと包括支援センターの情報共有ルール作成</p>

# いわき市住民支え合い活動づくりモデル事業

## 1 目的

今年度、支え合い活動を行いたいと考えている地域住民等とともに、地域の高齢者にどのような支援が必要かを共に考え、支え合い活動の立ち上げを支援することで、新しい生活支援サービス創出を目的として、「いわき市住民支え合い活動づくりモデル事業」を実施した。

「お互い様」の精神で支え合い活動に取り組むことにより、支える側の高齢者が居場所や生きがいを得ることで、健康増進にも繋がるものと期待されることから、「住民主体の支え合いによる生活支援サービスの創出」、「支える側の高齢者の健康と生きがいづくり」の2つを目的としている。

平成 27 年度は、いわき市社会福祉協議会（以下：社協）に事業を委託し、事業を進めている。

## 2 実施体制

市内 7 か所の地区社協（地区保健福祉センター単位）に生活支援コーディネーター（以下：地域福祉支援員）を 1 名ずつ配置し、積極的に事業推進に努めるほか、関係機関や団体等との連携強化を図り、各地区において発見された福祉問題や生活課題の解決に取り組んでいる。

## 3 住民支え合い活動創設までのスケジュール

時期	内容
5 月	モデル地区・実施団体公募（13 団体応募）
6 月	運営委員会設置 モデル地区・実施団体決定（7 団体選定）
7 月	各地区において協議隊設置
8 月～9 月	社会資源の把握 生活支援ニーズの把握・分析・課題抽出
10 月～12 月	実施（活動）内容の検討・決定 現地視察研修、住民説明会 サポーター研修会・サポーター登録
1 月～3 月	生活支援ニーズと活動のマッチング 住民支え合い活動の本格開始

## 4 担当者会議の開催

協議体の円滑な運営を図るため、市社協職員、地区社協職員及び地域福祉支援員が参加し、運営マニュアルの作成、各地区協議体における進捗状況の確認等を行っている。（1 か月に 1 回程度開催）

また、進捗状況に応じて、地区ごとの個別ヒアリングも実施している。

## 5 協議体の設置及び開催状況

### (1) 開催状況

各地区ごとに平成27年7月から1か月に1回開催している。

圏域	協議体（愛称）
平	城山地区（城山結の会）
小名浜	玉川町西区
勿来・田人	南台1・2地区（南台支え合い協議会）
常磐・遠野	下船尾地区
内郷・好間・三和	高坂9区
四倉・久之浜大久	新町地区（笑顔の会）
小川・川前	塩田地区

### (2) 協議体における取り組み

#### 【協議体】

- ①マップを活用して社会資源を把握  
⇒地区内にある人材・物財の確認
- ②生活支援ニーズの把握、分析、課題抽出  
⇒支援を要すると思われる方へ聞き取り調査を実施

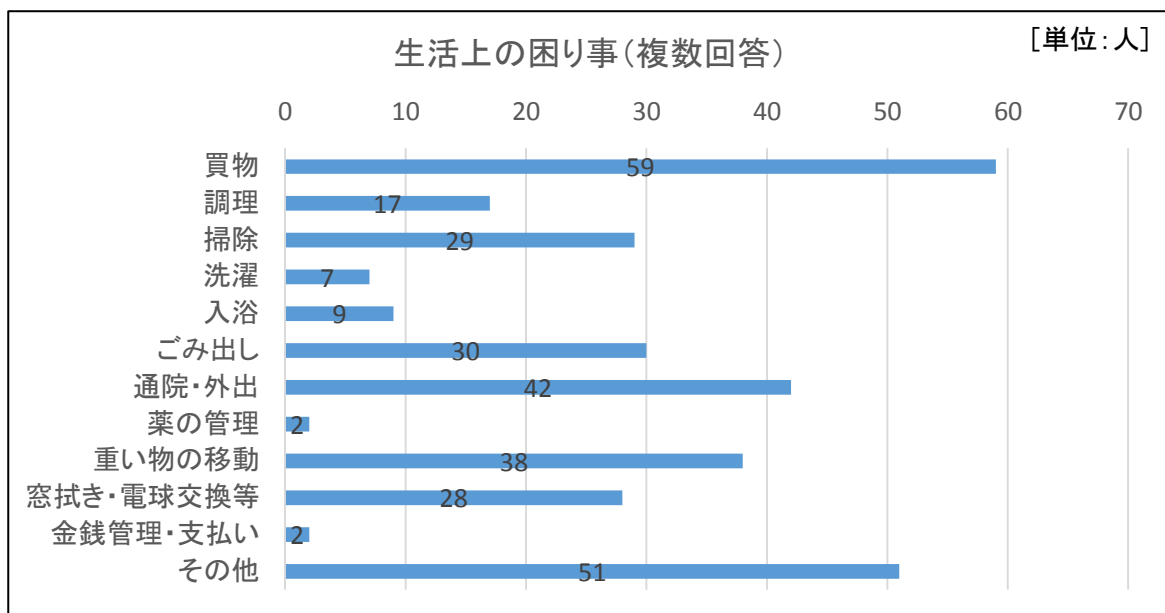
#### 【現地視察研修・サポーター研修】

- ①先進地へ視察研修を実施  
⇒支え合い活動の実践者からスキルを学ぶ。日上市塙山学区住みよいまちをつくる会と新潟市福祉ボランティアじゅんさいの会を視察した。
- ②支え合いサポーター研修会の計画・実施  
⇒支え合い活動を希望するサポーターを養成した。日上市塙山学区住みよいまちをつくる会の会長を講師として招いた。

※支え合いサポーター登録状況（平成28年3月10日現在）

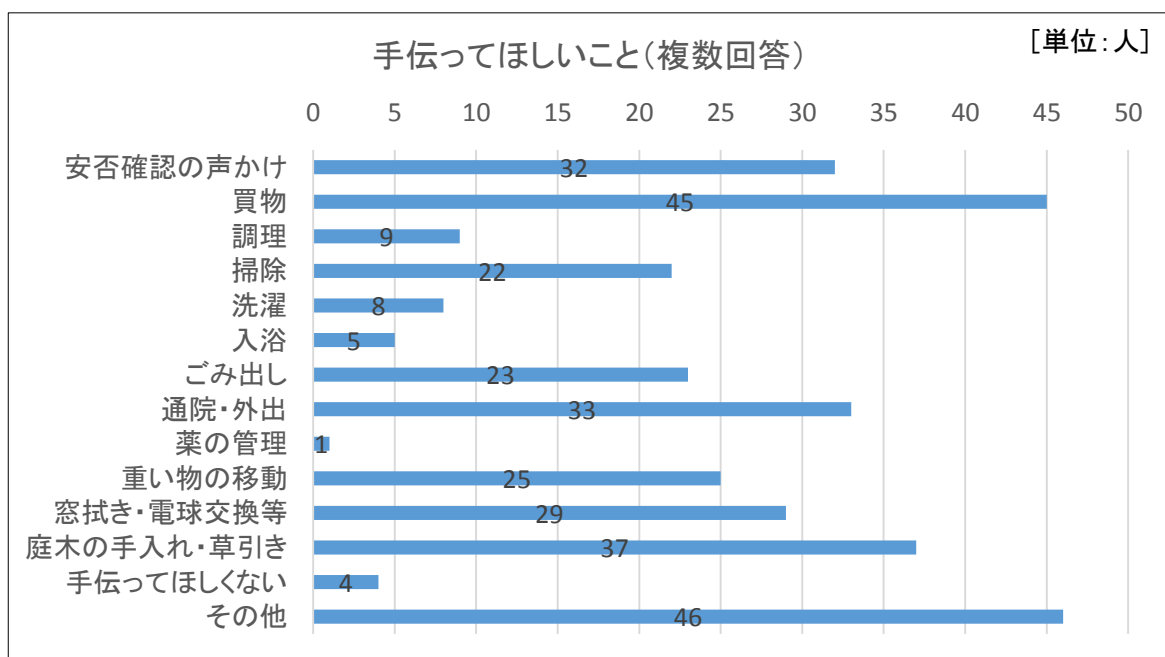
地区		登録者数	うち協議体	うち一般
平	城山地区	17名	8名	9名
小名浜	玉川町地区	15名	8名	7名
勿来	南台1・2区	10名	10名	0名
常磐	下船尾地区	26名	5名	21名
内郷	高坂9区	12名	4名	8名
四倉	新町地区	21名	12名	9名
小川	塩田地区	18名	8名	10名
計		119名	55名	66名

## 【生活支援ニーズ聞き取り調査結果】



①

買物 ②通院・外出 ③重い物の移動



①買物 ②庭木の手入れ・草引き ③通院・外出

## 【実施(活動)内容検討・決定】

各地区において、「できること、工夫すればできること、できないこと」の3区分に仕分けを行い、実施(活動)内容を決定した。

できること	工夫すればできること	できないこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供サービス</li> <li>・ごみ出し支援</li> <li>・空部屋を利用するの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃えるごみ以外の ごみ出し</li> <li>・ごみの分別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物代行サービス</li> <li>・買い物同行</li> <li>・移送サービス</li> </ul>

移動サロン ・区の中に相談窓口 設置の組織づくり ・定期的な見守り活動	・塩田公民館を利用 してのいきいきデイ クラブの実施	・調理補助
--	----------------------------------	-------

(小川：塩田地区協議体の仕分け結果)

### 【各地区の主な活動（平成 28 年 3 月 10 日現在）】

地区		活動		
		日程	内容	件数
平	城山地区	検討中	定期訪問（声かけ）	8件
		3/26	電球交換（購入含む）	1件
		2/9	ごみ出し	1件
小名浜	玉川町西区	3月中旬～	見守り ごみ出し	4件予定
勿来	南台地区	1/24・2/21	定期的な集会所の開放（つどいの場）	2回
		1月初旬～定期実施	見守り訪問・声かけ運動	10件
常磐	下船尾地区	2/29	定期訪問（声かけ）	17件
		3/16（予定）	個人宅をお借りした 開放型の移動サロン	1回
内郷	高坂9区	1/20・2/24	つどいの場の開催	2回
		12/25	意見箱の設置	2か所
四倉	新町地区	3月初旬	窓拭き（実施時期調整中）	1件依頼
		1/28・2/4・2/8	サポーターから関係機関へ 情報提供・相談	3件
		1/14・1/18・2/4	サロンの場でサポーターが中心に マップを用いて対象者を確認	3回
小川	塩田地区	2/5	個人宅をお借りした 開放型の移動サロン	1回
			サロンの場において困りごと相談	2件

## 6 今後の方向性

平成 28 年度もモデル事業を継続し、既存 7 団体の活動支援のほか、新規に 7 団体を加え、立ち上げ支援を行う。これらの地区の取組みを分析し、課題等の整理を行い、本格実施に向けた具体的な制度設計やマニュアル作成などを進める。



## 高齢者生活安全部会

### 1 高齢者生活安全部会の今年度の検討事項

- (1) いわき市認知症あんしんガイドの普及啓発の方法の検討
- (2) 認知症初期集中支援の仕組みづくり
- (3) 認知症カフェ事業の実施方法や開催場所の検討
- (4) 認知症サポーターの活動支援の仕組みづくり

### 2 高齢者生活安全部会日程及び内容

回数・日程	検討事項等
第1回部会 7月1日(水) 14:00～16:30 (文化センター)	会議のテーマ 第7次市高齢者保健福祉計画と検討の方向性
	検討事項 1 高齢者生活安全部会の今年度の検討事項とスケジュール 2 認知症への理解(認知症の正しい知識の普及啓発) 3 認知症の方や家族、介護者への支援
第2回部会 8月19日(水) 15:00～17:00 (文化センター)	会議のテーマ 本年度の認知症施策の具体的な検討
	検討事項 1 認知症初期集中支援の仕組みづくり 2 認知症サポーターの活動支援の仕組みづくり
第3回部会 11月4日(水) 15:00～17:00 (文化センター)	会議のテーマ 認知症に関する広報と、事業の進捗確認
	検討事項 1 認知症あんしんガイド(認知症ケアパス)の普及啓発 2 認知症初期集中支援の仕組みづくりについて 3 認知症カフェ事業の進捗報告
第4回部会 1月20日(水) 15:00～17:00 (文化センター)	会議のテーマ 次年度の認知症施策の事業展開の検討と事業の進捗確認
	検討事項 1 オレンジノート(仮称)の検討について 2 認知症サポーターの活動支援について 3 認知症カフェ事業の進捗報告 4 認知症あんしんガイド概要版について

### 3 部会での検討事項の報告と今後の方向性

#### (1) 認知症あんしんガイドの普及啓発の方法の検討

平成 27 年 9 月に「認知症あんしんガイド Vol.1」を作成し、支所・地区保健福祉センター・地域包括支援センターの窓口で配布しているほか、研修会等で配布するなど、周知を図っている。

部会において、認知症あんしんガイドは内容が充実しており認知症に関心のある方や対応している方には有用だが、認知症に関心のない方に対しては内容が濃すぎるとの意見があった。

このため、誰もがより気軽に手に取りやすい資料として「認知症あんしんガイド Vol.1 概要版」を作成し、認知症に関心を持っていただけるよう周知を図っていく。

#### (2) 認知症初期集中支援の仕組みづくり

認知症の疑いのある方や認知症の方を、早期発見・早期診断に繋げ、初期段階における集中的・包括的な支援を実施するため、対象者の把握方法、医療・介護関係者の情報共有方法、役割分担、連携体制などについて、現状や課題の把握、対応策の検討を実施してきた。次年度以降も、認知症初期集中支援チームの活動を併せて、関係機関の連携強化を図るため、初期集中支援の仕組みづくりに取り組んでいく。

また、認知症は病気というより生活障害であるとの観点から、認知症対応には生活支援を通して、本人の生活歴なども含めてトータルでまとめられるツールが有用であるとの意見があった。そのツールとして他市で取組んでいるオレンジノート（仮称）の調査・研究を行っていく。

#### (3) 認知症カフェ事業の進捗報告について

認知症カフェ事業は、認知症の方とその家族等が、認知症によって生じた生活の変化・混乱・漠然とした不安感等を、同じ立場の方と共有、共感することで解消することができ、専門職等の配置により最初の相談窓口として適切なケアに結び付けることができるほか、地域住民の交流の場を創出することで、認知症の正しい知識の普及啓発を図り、認知症の方とその家族を地域で支える体制の構築を目的に実施している。

##### 【オレンジカフェ以和貴の機能】

- ① 相互の情報共有・共感によるピアサポート機能
  - ・ 認知症の方や家族、介護者間の同じ立場の方同士の情報共有・共感により認知症によって生じる生活の変化・混乱・漠然とした不安感等の解消を図る
- ② 専門職の相談による支援機能
  - ・ 認知症地域支援推進員による相談体制  
⇒集中的・包括的支援が必要な場合の認知症初期集中支援チームへの繋ぎ
  - ・ 認知症ケアのアドバイス  
(本人や家族介護者に対するアドバイス、予防に関すること等)
  - ・ 専門の医療機関等への受診の促し
- ③ 住民の交流の場の創出による情報発信・収集の拠点機能

- ・ 住民の交流の場とすることで、認知症の方とその家族の社会関係の維持を図る
- ・ 認知症の正しい知識の普及啓発
- ・ 認知症の疑いのある方の早期発見や情報収集

【オレンジカフェ以和貴の開催日程】

地区	会場	開催日	時間	実施月
平地区	いわき食彩館(株) スカイストア	毎月第1金曜日	11:00 ～ 15:00	H27.11
小名浜地区	社団医療法人 容雅会 特別養護老人ホーム サニーポート小名浜	毎月第4金曜日	14:00 ～ 15:00	H27.11
常磐地区	医療法人社団 秀友会 老人保健施設 サンライフゆもと	毎月第3木曜日	13:30 ～ 16:00	H28.1

【オレンジカフェ以和貴の実績】

《参加者数》

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
スカイストア	23	19	17	22	19	100
サニーポート小名浜	10	3	10	7		30
サンライフゆもと	—	—	8	5		13

《うち認知症に関する相談内訳》

スカイストア	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0	1	1
②地域包括支援センター への相談勧奨	0	0	1	0	2	3
③家族の接し方の助言	0	0	1	0	0	1
④本人への助言	0	0	3	3	2	8
⑤その他	0	2	5	1	5	13
合計	0	2	10	4	10	26

サニーポート小名浜	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①医療機関への受診勧奨	0	0	0	0		0
②地域包括支援センター への相談勧奨	0	0	0	0		0
③家族の接し方の助言	0	0	1	0		1

④本人への助言	0	0	0	0		0
⑤その他	0	0	0	0		0
合計	0	0	1	0	0	1

サンライフゆもと	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①医療機関への受診勧奨	—	—	0	0		0
②地域包括支援センターへの相談勧奨	—	—	0	0		0
③家族の接し方の助言	—	—	0	0		0
④本人への助言	—	—	1	1		2
⑤その他	—	—	2	4		6
合計	0	0	3	5	0	8

今後は、市内 14 の日常生活圏域で月 1 回程度の開催を目標に、計画的に実施を図っていく。

また、開催の情報について市ホームページ等を利用し発信しているところだが、今後は、より多くの方に参加いただけるよう、一層の周知を図っていく。

#### (4) 認知症サポーターの活動支援の仕組みづくり

認知症の正しい知識の普及啓発と、認知症の方とその家族を地域で支える応援者として認知症サポーター養成講座を実施し、市内で平成 28 年 2 月末で約 1 万 2 千人の方が、認知症サポーターとなっている。

認知症サポーターの養成だけではなく、活動の任意性を維持しながら、より上級の講座の開催や、認知症カフェ事業等でのボランティア活動について検討してきました。

次年度は、これまで養成した認知症サポーターの把握や、具体的な認知症サポーターの活動の場の検討、上級講座の開催の検討を進め、認知症サポーターが自主的に活動できる仕組みづくりを行う。



## 医療と介護連携促進部会

### 1 今年度の開催状況

	日時	内容
第1回	7/15	1 第7次市高齢者保健福祉計画について 2 医療と介護の連携強化について (1) 本市における医療と介護連携のめざす姿 (2) めざす姿を実現するための課題と対応策 3 今年度の検討事項とスケジュールについて
第2回	10/7	1 地域の医療・介護の資源の把握と活用について 2 医療・介護関係者の情報共有シートについて 3 医療・介護関係者への研修方法などの検討について 4 地域住民への普及啓発について
第3回	11/25	1 地域の医療・介護の資源の把握と活用について 2 医療・介護関係者の情報共有シートについて 3 在宅医療相談窓口について 4 医療・介護関係者への研修方法などの検討について 5 病院・在宅医療連携推進会議について
第4回	2/3	1 地域の医療・介護の資源の把握と活用について 2 医療・介護関係者の情報共有シートについて 3 今年度の取組みと次年度の取組み案について

### 2 今年度の取組みと次年度以降の取組み

#### (1) 地域の医療・介護の資源の把握

##### 【目的】

地域の在宅医療・介護連携の現状を把握し、医療・介護関係者の連携支援に関する施策の立案等に活用する。

また、地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供することにより、地域の医療・介護関係者が、照会先や協力依頼先を適切に選択、連絡できるようにする。

そして、地域の医療・介護の資源に関して把握した情報を活用して、地域住民の医療・介護へのアクセスの向上を支援する。

##### 【今年度の取組み】

リスト及びマップの掲載内容と活用方法について協議した。

掲載内容については、地区、名称、所在地、連絡先、診療日、診療時間、診療科、ホームページ、時間外対応可否、相談窓口、対応できる在宅医療などと決定。

活用方法については、市ホームページに掲載すること、関係機関や地域住民に配布することなどとした。

##### 【次年度以降の取組み】

調査を実施し、結果の整理を行い、リスト及びマップを公開し周知する。

## (2) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

### 【目的】

医療と介護が必要になっても、住み慣れた地域で可能な限り暮らし続けることができるよう、地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療と在宅介護が切れ目なく提供される体制の構築を目指す。

### 【今年度の取組み】

医療と介護連携促進部会において、入退院時の仕組みづくり、病院と在宅医療に取り組む医師の連携強化が課題との意見が出されたことを踏まえ、医師会主催で、市内病院の院長及び地域医療連携担当者を参集した「病院・在宅医療連携推進会議」が平成28年1月26日に開催された。

死への準備教育の重要性、病院と在宅医療に取り組む医師の間で入退院時や救急搬送時のルールを定め、それぞれの役割分担を明確にすることなどについて、協議した。

### 【次年度以降の取組み】

医療と介護連携促進部会や上記会議などで仕組みづくりについて検討する。

## (3) 医療・介護関係者の情報共有の支援

### 【目的】

患者・利用者の在宅療養生活を支えるために、患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われる仕組みを構築する。

### 【今年度の取組み】

情報共有様式については、市内統一様式がなく、その対応に苦慮しているなどの現状を踏まえ、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援するため、病院への入退院時や施設への入退所時、訪問歯科診療申込時などに活用する情報共有様式の素案を作成した。

### 【次年度以降の取組み】

様式と記載要領の作成、公開及び周知。また、その他の様式についても検討する。

## (4) 地域住民への普及啓発

### 【目的】

地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるようにする。

また、地域住民が終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解し、適切な在宅療養を継続できるようにする。

### 【今年度の取組み】

本市の医療体制や在宅医療に関する情報などを得られる機会が乏しいとの意見を踏まえ、地域住民の在宅医療・介護連携に対する理解を促進するため、在宅医療や介護に関する講演会の開催方法、資料などについて検討した。

その中で委員から出された意見は次のとおり。

- 在宅医療に携わる専門職が実際にどのような業務に取り組んでいるのか理解してもらうことが重要である。まず在宅医療がどのようなものなのか具体的なイメージを持ってもらうことが必要である。
- 地域住民と専門職と一緒に学べる場であってほしい。地域住民向けだからといって専門職向けよりレベルを下げるのは好ましくないと考える。専門職と同じレベルで学びたいと考えている地域住民もいるはずである。
- 文化センターで開催しても足の問題などで参加できる方は限定される。出前講座のような形で開催できないものか。専門職が地域住民の中に入って行って普及啓発に取り組むことが必要である。

具体的な内容については、今後も検討を進める。

また、今年度も前年度に引き続き、在宅医療出前講座を医師会主催、市共催で市内7か所で開催したところ、7日間で計305名の参加があった。

講座内容としては、在宅医療に関すること、緩和ケアに関すること、看取りに関すること、認知症に関すること、健康で長生きするために必要な生活習慣に関すること、介護予防に関すること、本市の医療体制の現状に関すること、地域包括支援センターに関することなど。

また、リビングウィルの配布にも取り組んだ。

#### 【次年度以降の取組み】

在宅医療出前講座の継続的な開催、リビングウィルの配布、啓発を行う。

### (5) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

#### 【目的】

在宅医療・介護連携を支援する相談窓口を設置することにより、地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターから、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連携調整、情報提供等により、その対応を支援する。

#### 【今年度の取組み】

地域の医療・介護関係者などからの、在宅医療・介護連携に関する相談の受付や退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整などを行う相談窓口について、その必要性や役割について意見交換を行った。

医療と介護の連携を推進するにあたり、在宅医療に関する相談受付や医療・介護関係者の調整を行う拠点が必要だろうとの意見が、複数の委員から出された。

#### 【次年度以降の取組み】

設置に向け、具体的な実施方法を検討する。

### (6) 医療・介護関係者の研修

#### 【目的】

医療と介護は、それぞれを支える保険制度が異なることなどにより、多職種間の相互の理解や、情報共有が十分にできていないなどの課題がある。

このため、多職種が連携するためのグループワーク等の研修を通じて、地域の医療・介護関係

者が、お互いの業務の現状等を知り、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するなど、現場レベルでの医療と介護の連携が促進されるような研修を提供する。

#### **【今年度の取組み】**

地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、医療・介護関係者に対する、効果的な研修会等の実施について検討した。

そこで、医療や介護に携わる多職種が顔の見える関係を構築しながら研修を実施することが必要だろう、との意見が複数の委員から出された。

#### **【次年度以降の取組み】**

多職種でのグループワークなどの研修会を開催する。



## 健康と生きがいがづくり部会

### 1 健康と生きがいがづくり部会の今年度の検討事項

「健康寿命の延伸」の実現にむけ、各分野の協働体制の構築、既存の取組みの整理、実効性のある介護予防事業の検討などについて、リハビリテーション専門職、現行予防事業実施担当者、地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員、保健師、シルバーリハビリ体操指導士等と共に協議・検討した。

### 2 今年度の開催状況

	日 時	内 容
第1回	7月23日 (木) 14:00～16:00 労働福祉会館	<b>【テーマ】</b> ○第7次市高齢者保健福祉計画について ○健康寿命の延伸の実現にむけた本市の取組みについて <b>【協議・検討】</b> ○課題整理と取組みの検討 ○今年度の検討事項とスケジュールの決定
第2回	10月22日 (木) 14:00～16:00 文化センター	<b>【テーマ】</b> ○介護予防・日常生活支援総合事業移行にむけて <b>【協議・検討】</b> ○介護予防事業の目標と評価の設定 ○地域における介護予防拠点の整備にむけた検討 ○虚弱高齢者への安全かつ継続可能なプログラムの検討 ○住民主体の活動（指導士会等）との連携検討
第3回	12月24日 (木) 14:00～16:00 文化センター	<b>【テーマ】</b> ○介護予防の機能強化 <b>【協議・検討】</b> ○短期集中予防サービスプログラムの検討 ○リハビリ専門職の関与方法の検討
第4回	2月18日 (木) 14:00～16:00 文化センター	<b>【テーマ】</b> ○実効性のある介護予防事業の展開① <b>【協議・検討】</b> ○住民主体の介護予防活動支援 ○自立支援に資するアセスメント及びマネジメントの検討
第5回	3月18日 (金) 14:00～16:00 文化センター	<b>【テーマ】</b> ○実効性のある介護予防事業の展開② <b>【協議・検討】</b> ○総合事業における機能訓練の考え方 ○短期集中予防サービスにおけるプログラム内容及び提

		供体制の検討
--	--	--------

### 3 部会での検討事項の報告と今後の方向性

#### (1) 一般介護予防事業の推進

平成 21 年度より取り組む住民参加型介護予防事業「いわき市シルバーリハビリ体操事業」を今後も介護予防事業の中心事業として位置づけることとし、活動の拡大とそれに伴う指導士の負担軽減策の検討、さらに高齢により体操の継続が困難になった場合の虚弱者向け体操プログラムの必要性について、リハビリテーション専門職と検討した。

検討の結果、体操内容は虚弱高齢者への対応が可能であることが確認され、その他の課題についても既存の体操プログラムを一元化することで解消できる可能性が高いとの意見により、本年度は体操プログラムの一元化と体操DVDの作成をすることとした。

#### (2) 短期集中予防サービスの検討

介護保険制度改正により、これまで二次予防事業で実施していた運動器機能向上プログラム、栄養改善・口腔機能向上プログラム等に相当する介護予防事業については、総合事業の介護予防・生活支援サービス事業（短期集中予防サービス）として実施されることとなった。

自立支援に資する取組みとして効果的な実施に繋げるため、先進自治体の短期集中予防サービスと各委員から意見を集約し、プログラム内容及び方向性を検討した。

次年度は、プログラムの具体化、実施方法を検討する。

#### (3) 自立支援に資するアセスメント及びマネジメントの検討

介護予防・生活支援サービス（短期集中予防サービス）については、3ヶ月から6カ月の集中介入により、IADLの改善により自立した生活につなげることを目標としていることから、日常生活に支障がある要支援者等の生活機能の低下の要因を分析し、ADLやIADL、健康管理、日常生活、活動、生活歴等を確認、評価したうえで、多職種により個別具体の支援を検討することとした。

第3回部会より継続協議中であるが、自立後の活動を視野に入れた指導・支援が重要であることから、目標とする状態像を参加者と共有し、課題把握と具体的支援策を検討するため、詳細なアセスメント項目とリハビリテーション専門職の効果的な関与方法について検討中である。

# 平成 28 年度の検討項目（案）について

## 1 地域包括ケア推進会議（4 回開催予定）

- (1) 全市的な取組みを必要とする地域課題について
- (2) 作業部会の取組みについて
- (3) 中地域ケア会議について
- (4) 住民支え合い活動づくりモデル事業について

## 2 作業部会

### (1) 高齢者生活安全部会（4 回開催予定）

- ① 認知症初期集中支援の仕組みづくり
- ② オレンジカフェ以和貴の効果検証
- ② 認知症あんしんガイドの校正とリニューアル
- ③ 認知症サポーターの活動支援の仕組みづくり

### (2) 医療と介護連携促進部会（4 回開催予定）

- ① 地域の医療・介護の資源の把握（上半期）
- ② 医療・介護関係者の情報共有の支援（上半期）
- ③ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- ④ 在宅医療・介護連携に関する相談支援の検討
- ⑤ 地域住民への普及啓発
- ⑥ 医療・介護関係者の研修

### (3) 健康と生きがいづくり部会（4 回開催予定）

- ① 短期集中予防サービスの検討（上半期）
- ② 自立支援に資するアセスメント及びマネジメントの検討（上半期）
- ③ 一般介護予防事業の推進

平成 27 年度中地域ケア会議における課題抽出一覧

大分類	小分類	現状と課題	課題抽出地区センター						必要と考えられる対応など		
			平	浜	勿	常	内	四		小	
住まい	住まい	◎農村部や山間部の過疎化	○				○	○	○	○包括的なケアに取り組める環境整備	
		○低所得者向け住宅の不足。公営住宅の入居要件（連帯保証人の確保）		○		○				○バリアフリー住宅の整備	
		○在宅介護向けの高齢者住宅の質と量の確保。		○				○		○在宅生活に支障をきたしている住民から優先的に住み替えできる仕組みづくり	
		◎古い家（持家）やアパートなどのバリアフリー化が不十分		○	○		○	○		○サービスつき高齢者住宅の把握と指導	
		◎住環境（道路狭隘、集合住宅）が悪くサービス提供や救急搬送、ゴミ収集などに支障がある		○	○		○	○		○独居高齢者や高齢者のみ世帯を個別訪問し住宅改修の利用を勧める	
		○新興住宅地、集合住宅、公営住宅の高齢化の進行とニーズの拡大		○				○			
生活支援	食	○食の確保。配食サービスの回数の見直しなど	○	○						○配食サービス事業の拡大、多様なサービスの創出	
	買い物	◎買い物に行けない（近隣に店舗がない、移動販売・お届けサービスが来ない地区など）	○	○	○		○		○	○ニーズ把握のうえ、移動販売を実施している業者との協議	
		○訪問介護の時間内に買い物が終わらない（店舗大型化、山間地域）ケースがある		○					○	○ボランティアの育成	
	ごみ	○ごみ集積所まで距離があると歩いて行けない	○				○	○		○ごみ出しを助け合う仕組みづくり ○ボランティアの育成	
	見守り	◎独居高齢者（日中独居）を見守る仕組みが必要。（見守り隊、配食サービスの見守り機能等の拡充）	○	○	○				○	○	○災害時要援護者情報の共有 ○不安な高齢者をまとめたマップ作成
		○自らは SOS を出さない高齢者が多い（民生委員の訪問を断るなど）	○			○					○高齢者見守り隊の結成と支援（活動支援、他地区の情報提供）
		○災害時の避難誘導や防犯対策、緊急時対応の仕組みが必要	○		○						○緊急通報システムの利用推進（見守り隊に協力員になってもらうなど）
		○高齢者の情報を把握しにくい（個人情報保護の観点）	○			○					○配食サービスの安否確認徹底（配達員への講習や更新制の導入）
		○認知症高齢者の増加、地域での認知症の理解が進まない				○		○			○徘徊 SOS ネットワーク（警察との情報共有、介護事業者等への協力要請など） ○徘徊 GPS サービスの簡素化（チップを靴やバッグに埋め込むなど） ○徘徊模擬訓練の実施 ○認知症サポーター養成講座 ○救急医療情報キット等の既存の仕組みを活用し緊急時対応を行う。
	金銭管理	○あんしんサポートを利用できるようになるまでの期間の支援不足		○							○制度利用までの機関の金銭管理方法を検討
移動	☆移動手段の確保（公共交通手段がない。車がないと不便。高齢者の運転は危険。買い物、通院など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○乗合交通機関を設ける ○医療機関や介護事業所の送迎バスの活用 ○送迎サービスの充実（車両の購入、維持費、燃料費補助も検討）	
社会参加	◎ボランティアの不足。介護保険だけで対応しきれないニーズがある。		○		○		○	○		○ボランティアポイントの活用 ○地域通貨の導入	
交流	○地域交流の希薄化。（多世代間、アパートや団地住人、避難者との交流。老人会の継続など）	○	○					○		○アパートや団地の住民や新規転居者も参加しやすいイベントの開催	
	○家族介護者等への支援体制、交流の場が必要		○	○						○多様な世代が集まれる場所、趣味（スポーツや伝統芸能）の団体を作る	
医	○医療や薬について相談できる場所が少ない。	○					○			○かかりつけ薬局の充実 ○薬剤師会との協議 ○行政保健師の機能強化	



療 や 看 護	療	○かかりつけ医の体制の不足。		○						○医療に関する相談窓口の設置 ○ふくしま医療情報ネットの活用
	や	○精神科の訪問診療がないため、受診に繋がらない。(かかりつけ医と専門医の連携)		○						○訪問診療、訪問看護の促進 ○在宅医療研究会の開催
	看	○訪問診療を行う医療機関が少ない。判らない。		○	○			○		○在宅医療に関わる多職種が顔合わせできる研修会の検討
	護	○不足している診療科がある。入院病床も少ない		○					○	○精神ケースへの専門的関与(相談や診療を行政で行えるような体制づくり)
		○かかりつけ医、在宅医療、看取りに対する地域の認識が低い(重複受診、救急搬送、本人の意思尊重)		○		○			○	○巡回訪問診療システムの構築検討 ○救急医療情報キットの周知徹底
介 護 や リ ハ ビ リ	リ	○専門的なリハビリと地域活動を結びつける必要があるが、地域活動のリハビリ側面が弱い。	○	○					○	○ニーズ把握の徹底 ○サービス内容の明確化
	ハ	○急性期リハビリから回復期リハビリへの移行が不十分		○						○事業所に対する勉強会の継続と内容充実
	ビ	◎訪問・通所リハビリの不足。リハ専門職の不足。リハビリに関する理解や認識の不足。		○	○			○	○	○リハビリの必要性の普及啓発
	リ	○個別支援計画の実施や評価が十分でない。事業所によって質にばらつきがある。		○						○退院後のリハビリ体制について状況把握
介 護	介	○介護人材の不足。夜間対応可能な事業所、介護施設、短期入所や訪問リハビリなどのサービスが不足。		○	○				○	○ニーズの把握のうえ、通所リハとデイサービスの内容の明確化
		○デイサービスとデイケアのサービス内容が曖昧。		○						○サービス事業所への勉強会の継続・内容充実。
		○認知症の症状により利用できる事業所が限定される。							○	○デイサービスとデイケアのサービス基準を明確にし、実施状況を検証する。
予 防 や 保 健	予	◎介護予防活動に参加するには移動手段が必要	○	○				○	○	○コミュニティを運営する人材の育成
		◎介護予防活動拠点、活動リーダーの不足。地域活動が行われず、高齢者の受け皿がない。		○			○		○	○介護予防教室のさらなる立ち上げ(空白地帯での立ち上げが特に必要)
		◎参加したくなる仕組みづくり(男性の参加が少ない。閉じこもり高齢者)	○	○	○	○			○	○広報活動 ○普及啓発活動の実施(若い世代にも) ○企業等への働きかけ
		○公民館などで介護予防教室を開催していることを知らない住民が多い		○			○			○参加しやすい環境づくり(交通手段の確保など)
		○二次予防教室委託先の状況把握や評価が不十分		○						○寸劇などの分かりやすい形での情報提供(小中学校などで実施)
										○地域活動に関する情報誌を作成し回覧する ○地域活動のマップ作成
保 健	保	○検診受診率が低いうえ、糖尿病予防教室等の効果分析がなされていない		○						○周知活動 ○効果分析の実施 ○保険事業と介護予防事業・疾病予防事業の連携
	障 が い	○障がい福祉サービスの不足、地域における障害に対する意識が低い		○						○子供に対する教育 ○行政内での横断的な取り組み
各 領 域 の 連 携	各	○地域関係者(行政区・自治会・老人会・民生委員)の連携。	○	○				○		○顔の見える関係の構築(交流会、講演会や予防教室などを共催するなど)
	領	○介護事業所と地域の関わりが必要。	○							○連携ツールの作成 ○フェイスブックやメールによる連携
	域	○医療機関・施設と行政機関の連携が不十分 ○退院前指導などの退院前の情報共有が必要		○				○		○医療機関や介護事業所に対して退院時・退所時の連携協力を求める
	の 連 携	○虐待対応のシェルターの施設や住居が不足		○						○虐待ケースの分離については行政の措置行使を積極的に実施
	○地域からの情報収集(住民の情報、各団体の活動など)、行政からの情報発信がうまくいっていない。		○		○				○区長と民生委員の連携について検討 ○横断的な取り組みの実施	
そ の 他	雪	○降雪による孤立化の恐れ。除雪が難しい							○	○冬季の生活支援
	困 窮 世 帯	○困窮世帯への対応 ○タクシーを自費利用すると負担が大きい	○	○					○	
	財 産	○財産処分の際に問題が起こることがある		○						

平成 27 年度中地域ケア会議の取組み一覧

中地域	領域	地域課題	取組み
平	方部会	○基幹となる地域の課題について協議する場が必要。	○草野地区基幹地域ケア会議の開催（平成27年7月2日） ○神谷地区基幹地域ケア会議の開催（平成27年9月9日） ○平窪地区基幹地域ケア会議の開催（平成27年11月11日）
小名浜	認知症	○高齢者の虐待原因に認知症が多い。 ○認知症高齢者に対する理解が乏しく、不安を抱いている家族が多い。	○小名浜地区認知症在宅ケア講演会の開催 いわき・ら・ら・ミュウを会場として、医師会、薬剤師会、介護関係者、包括、行政が連携し、小名浜地区の住民を対象とした小名浜地区認知症在宅ケア講演会を平成27年9月12日に開催した。
		○認知症または認知症の疑いにより行方不明になる高齢者が増加している。	○泉地区認知症声かけ・搜索訓練の実施 【日時】平成28年3月17日（木） 【場所】泉公民館（本部）、泉町2丁目～4丁目、泉町滝尻 【内容】 (1)届出訓練：認知症高齢者が徘徊等により行方不明になった後、警察などに対し、搜索願などの搜索に必要な届出を行う訓練。 (2)情報配信訓練：実際に家族などからの警察等への搜索等に係る届出の後、市のSOSネットワークや警察の行方不明者情報の配信等の手順を確認する訓練。 (3)声かけ訓練：実際の徘徊者役を配置して徘徊をしている認知症高齢者の方への声かけの仕方を体験してもらう訓練。 (4)搜索訓練：実際の徘徊者役に徘徊を行ってもらい、その徘徊高齢者を搜索し、保護する訓練。
	介護予防	○閉じこもりの高齢者がいる。 ○安心して暮らすための見守り体制がない地域がある。 ○自宅の近くに運動できる場所がない。 ○二次予防教室終了後の受け皿がない。 ○虐待の原因に認知症が多く、家族では変化に気づけない。	○「通いの場」の整備 各地区の集会所等を活用し、定期的なシルバーリハビリ体操、及び小地域ケア会議を開催し、地域の「通いの場」として整備する。当該「通いの場」での住民による自主的な健康づくりを切っ掛けに住民同士のつながりを促進し、地域の中の問題共有・問題発掘を図る。近隣でシルバーリハビリ体操等が行われていない地域を優先的に、行政区長や民生委員と協力しながら「集いの場」の整備を進める。
勿来・田人	医療と介護	○市（地域医療対策室）において、医師会からの情報提供で訪問診療、往診の可否のデータは保有しているが、細かな条件（対応可能範囲等の条件）については情報がない。	○管内の医療機関にアンケート調査を実施し、往診や送迎の可否等について集約した資料を作成した。今後も適宜整備を行っていく。なお、集約した情報については、地域包括支援センターを通して情報提供を行っている。
		○専門的な課題について協議する場が必要	○医療と介護連携促進部会の開催（平成28年2月23日） 【目的】 ◇関係者間の意識、情報の共有と連携の仕組みづくり 【検討課題】 ◇往診や訪問診療等の家で受けられる医療等の充実
	認知症	○専門的な課題について協議する場が必要。	○高齢者生活安全部会の開催（平成28年2月23日） 【目的】 ◇認知症に対する正しい知識、理解の促進 ◇早期発見、対応のシステムづくり ◇本人、介護者等の支援に関する取組み 【検討課題】 ◇高齢者世帯及び高齢者単身世帯の増加による見守り体制の強化

			◇データ整備終了後は、災害時の迅速な避難誘導や災害除法の提供体制の整備
	介護予防	○専門的な課題について協議する場が必要	○健康と生きがいがづくり部会の開催（平成28年2月23日） 【目的】 ◇介護予防事業への参加促進 ◇住民主体による介護予防活動の促進 ◇生きがいや役割の創出による健康増進 【検討課題】 ◇地区の集会所を高齢者の集まりの場として開放するなど。高齢者が外に出たくなるような仕組みの構築
	移動手段	○専門的な課題について協議する場が必要	○高齢者移動手段検討部会の開催（平成28年2月23日） 【目的】 ◇勿来・田人地区の高齢者が安全・安心に生活を送るための交通手段の確保 【検討課題】 ◇車の運転ができない高齢者世帯への支援・補助制度の拡充
常磐・遠野	認知症	○専門的な課題について協議する場が必要。	○高齢者生活安全部会の開催（平成27年10月14日、平成27年12月16日） 【検討事項】 認知症について
	介護予防	○専門的な課題について協議する場が必要。	○健康と生きがいがづくり部会の開催（平成27年10月14日、平成27年12月16日） 【検討事項】 介護予防について
	医療と介護	○専門的な課題について協議する場が必要。	○医療と介護連携促進部会の開催（平成27年10月14日、平成27年12月16日） 【検討事項】 医療と介護の連携について
内郷・好間・三和	方部会	○それぞれの地域の課題について協議する場が必要。	○内郷地区方部会の開催（平成27年7月14日、平成27年10月13日） ○好間地区方部会の開催（平成27年7月22日、平成27年10月22日） ○三和地区方部会の開催（平成27年7月30日、平成27年10月27日）
四倉・久之浜大久	認知症	○高齢者の増加に比例して、軽度認知症を含む認知症高齢者の割合が増加している。中でも、徘徊を伴う際には在宅での家族介護が非常に困難な状況にあり、地域全体での支援が不可欠である。	○「徘徊SOSネットワーク」の構築と「徘徊模擬訓練」の実施 認知症高齢者の徘徊への対応として、身近な地域のネットワーク体制を構築し「安心できるまち」の具現化を目指す。平成27年度は実施可能な地区を選定、実現に向けた協議を進めている。平成28年10月に徘徊模擬訓練実施予定。
小川・川前	介護予防	○地域内の65歳以上75歳以下の元気シニア層は介護予防や健康づくりに対する関心が高く、また、もう一度学びたいと考えている人も多く、学習意欲も高い。今までは、年度内に単発で実施されている教室の開催や期間限定（3か月程度の期間）での事業実施は行われていたが、通年事業はなかった。地域の元気シニア層が参加できる通年制の事業を創設することで、地域の中にある地域資源の選択肢を増やし、生きがいを進めてゆくことで介護保険利用への移行を遅らせる必要がある。	○小川寺子屋の実施 地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進できるよう、介護予防的考え方と地域リハビリテーションの概念を取り入れた地域独自の一般介護予防事業の創設を行う。具体的には、地域高齢者のうち、65歳以上75歳以下の元気なシニア層を対象に、地域リハビリテーション、介護予防、健康づくりをテーマとしたプログラムを実施する。講師はリハビリ専門職に担ってもらい、運営は地域住民を交えた関係機関により運営委員会を設置して運営する。